

## 第16期 BUSINESS REPORT

## 中間ビジネスレポート

● 2024年12月期 ● 2024年1月1日～2024年6月30日

株式会社ブロードリーフ

証券コード:3673

## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ブロードリーフグループ(以下、当社グループ)は、企業理念の「感謝と喜び」および「社名の由来」に込めた想いを実践し、変わりゆく事業環境の中でも、常にお客様の事業継続や事業創造に貢献するための活動を続け、中期経営計画(2022-2028)に取り組んでおります。計画最終年度の2028年12月期 連結業績計画を以下と設定し、二つの成長戦略である「クラウドの浸透」と「サービスの拡張」を推進しております。

売上収益 325億円

営業利益 130億円(営業利益率40%)

親会社の所有者に帰属する当期利益 80億円

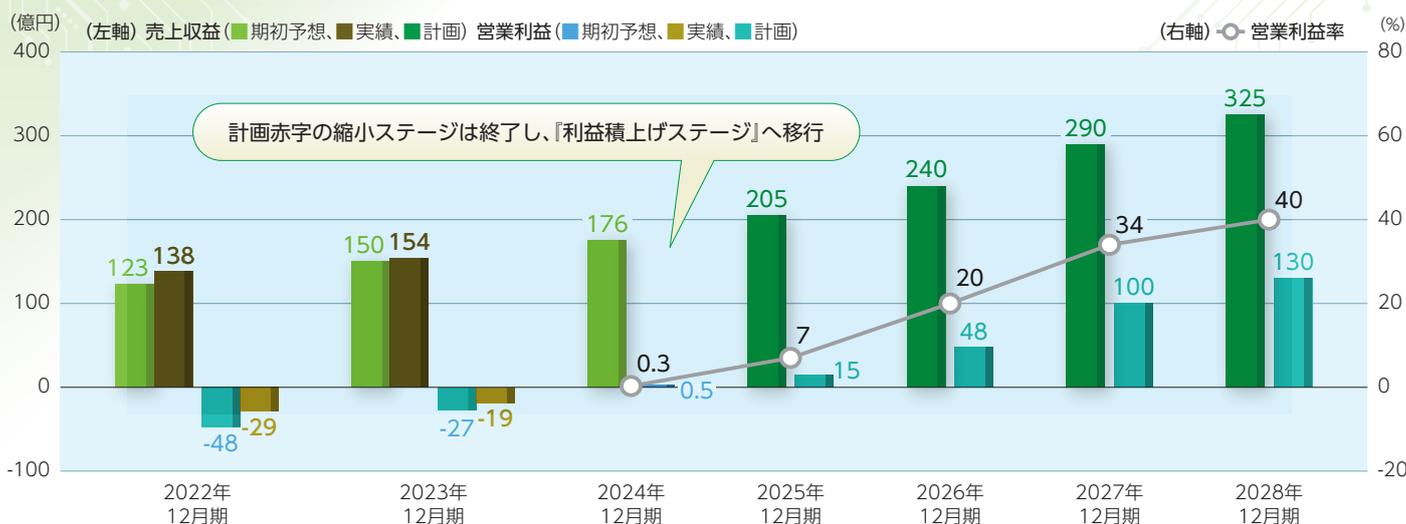
当社グループは中期経営計画(2022-2028)の達成を目指し、計画2年目の前期までの業績は計画赤字で進んでまいりました。現在、計画3年目に入り、通期では各利益項目が黒字に転換する予想です。当中間期においては、営業損益の赤字額が当初予想より大幅に減少し、当第2四半期では黒字に転換しました。これはパッケージソフトをご利用のお客様がクラウドソフトへの移行が進んでいるとともに、新たなお客様も獲得できているためです。下期もこの利益の積上げを継続させるだけでなく、当社グループ社員が一丸となって、通期業績の黒字化を目指してまいります。さらに、中期経営計画(2022-2028)の推進を通じて、当社グループが持続的に成長できるように努めてまいります。

皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 大山 堅司



## 中期経営計画(2022-2028)の進捗





ブロードリーフは創業来、「企業理念」および「社名の由来」に込めた想いの実践を通じて、  
変わりゆく事業環境の中でも、常にお客様の事業継続と事業創造に貢献するために最適な製品・サービスを開発・提供しています。

企業理念

# 感謝と喜び

感謝と喜びの心を根本に、幅広い業種・業界に特化した業務アプリケーションを開発し、  
より良い製品・サービスを提供することにより、お客様の事業創造に貢献いたします。



## 社名の由来

ブロードリーフとは **広葉樹** のことです。  
広葉樹の多くは春から夏にかけて葉に日差しを受けて成長し、冬には葉と実を落として土に養分を返します。  
その循環が様々な動植物と共生できるフィールドを育むのです。  
ビジネスの大地に一本の広葉樹として根をおろし、葉を茂らせ、実をつけ、  
お客様をはじめとするすべての人々とともに未来へと成長を続けたい。  
ブロードリーフという名にはそのような気持ちが込められています。

## 財務ハイライト

連結経営成績・財務状態 (百万円)	2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	2023年12月期 通期	2024年12月期 通期 (予想) <sup>*1</sup>
売上収益	7,390	8,421	15,385	17,600
営業利益 (△は損失)	△1,111	△44	△1,902	50
親会社の所有者に帰属する 中間・当期利益 (△は損失)	△826	△14	△1,487	90
資産合計	35,728	38,851	※1:2024年8月8日に公表	
負債合計	12,638	16,201		
資本合計	23,090	22,649		
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,126	2,089		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,917	△2,038		
財務活動によるキャッシュ・フロー	717	63		
フリーキャッシュフロー	△791	51		

### ◆ 経営成績・財務状況について

当社グループは、企業理念である「感謝と喜び」の心を根本として、お客様の事業継続や事業創造に貢献するための活動を続けるとともに、中期経営計画(2022-2028)で掲げた「クラウドの浸透」と「サービスの拡張」という二つの重点施策に注力しております。

当中間期において、クラウドソフト「cシリーズ」をはじめとした月額サブスクリプション契約の増加が、売上収益の増加要因となりました。また、非モビリティ産業向けのパッケージソフト販売が前年同期並みとなった一方で、モビリティ産業のお客様は、利用期限の満了に伴い順次クラウドソフト「cシリーズ」に切り替えたため、売上収益の減少要因となりました。

なお、パッケージソフトをご利用のお客様によるクラウドソフト「cシリーズ」への切り替えは、一部では売上収益の減少要因となる一方、売上収益の大きな増加要因となります。この要因は、全お客様の切り替えが完了する2028年まで続く見通しです。

### ◆ 2024年12月期 配当について

2023年12月期は、中間損失であり、中間配当は0円とさせていただきます。2024年12月期の中間連結会計期間も中間損失となり、中間配当は0円とさせていただきます。

2024年12月期の年間配当におきましては、成長投資を積極的に行いつつ、財務健全性の維持に必要な内部留保の確保を行ったうえで、前期から1円増配させていただきます。1株当たり2円の配当を実施したいと考えております。

1株当たり配当金 (円)	2023年12月期	2024年12月期 (予想) <sup>*2</sup>
中間配当金	—	—
期末配当金	1.00	2.00
年間配当金	1.00	2.00

※2:2024年6月18日に公表

## 会員企業様と行うブロードリーフの森 In 笛吹芦川 創設

概要

当社グループは、事業活動で培われたノウハウを通じ、社会の抱える課題を解決することは社会的責任であると認識し、環境保全活動「Grow Leaf Project (グローリーフプロジェクト)」を推進しています。  
今年で16年目になる活動の一環として、2024年6月に認定NPO法人環境リレーションズ研究所と協働で山梨県笛吹市芦川の「Present Tree In 笛吹芦川」内に、「ブロードリーフの森」を創設いたしました。



### ◆ ブロードリーフの森 In 笛吹芦川について

このほど創設した「ブロードリーフの森」では、甲府盆地と富士河口湖町の間位置する山梨県笛吹市芦川において、2024年と2025年の2年間に、合計500本を植樹することが決定しています。(2024年6月に「ブロードリーフの森」創設の記念植樹イベントを開催)

2025年にすべての植樹が完了した後は、定期的に木々のメンテナンスを行い、自然豊かな里山の再生を目指します。

また、今回創設した「ブロードリーフの森」を皮切りに、様々な地域で、「ブロードリーフの森」の創設を検討しており、「Grow Leaf Project」の会員企業様とともに緑豊かな広葉樹の森を日本各地に広げていきたいと考えています。

当社グループは、今後も「Grow Leaf Project」による植樹活動をはじめとした地球環境保全活動を通じて、企業の社会的責任を果たすとともに、SDGs(持続可能な開発目標)のひとつである「陸の豊かさを守ろう」の達成にも貢献できるよう、会員企業様とともに継続的な活動を行ってまいります。

「Grow Leaf Project」についての詳細 ▶  
<https://www.broadleaf.co.jp/sustainability/growleaf/>

